

新型コロナウイルスワクチン接種についてのお知らせ

(8月13日時点)

■新型コロナウイルス感染症対策室（内線453）

ワクチン接種後に気をつけていただきたいこと

接種後、すぐに現れる可能性のある症状

アナフィラキシー

薬や食物が体に入ってから、短時間で起こるアレルギー反応のことで、じんましんなどの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が急に起こります。

起こることは極めてまれですが、接種後にもアナフィラキシーが起こっても、ワクチンの接種会場や医療機関では、すぐに対応できるよう、医薬品などの準備をしています。

血管迷走神経反射

ワクチン接種に対する緊張や、強い痛みをきっかけに、立ちくらみがしたり、血の気が引いて時に気を失うこともあります。誰にでも起こる可能性がある体の反応で、通常、横になって休むと自然に回復します。

倒れてけがをしないように、背もたれのある椅子に座って様子を見てください。

<ワクチン接種を受けた日の注意点>

・激しい運動や過度の飲酒は控える。 ・接種部位は清潔に保つ。 ・入浴時に接種部位を強くこすらない。

接種後、数日以内に現れる可能性のある症状

- ▶ 発現率50%以上 ……接種部位の痛み、疲労、頭痛
- ▶ 発現率10～50% ……接種部位の腫れ、筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱
- ▶ 発現率1～10% ……吐き気、嘔吐

- ・インフルエンザなどのワクチンより痛みが強いと感じる人もいます。
- ・これらの症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています。
- ・疲労や関節痛、発熱など、2回目の方が、頻度が高くなる症状もあります。

※ごくまれに、若い人、特に男性において2回目の接種後に軽症の心筋炎・心膜炎を発症した例が報告されています。心筋炎は一般的には入院が必要ですが、多くは安静によって自然回復するとされています。



接種後、副反応と思われる症状に関する相談は

- ▶ まずは、かかりつけ医に相談
- ▶ かかりつけ医で対応できない場合、かかりつけ医がいない場合は**長崎県コロナワクチンコールセンター**に相談 ☎0120・764・060（土・日・祝を含む24時間対応）

市からのお願い

ワクチン接種は、感染症予防の効果と副反応のリスクを知っていただき、接種するかどうかの判断をしていただきますようお願いいたします。本人の同意なく、接種が行われることはありません。

他の人に接種を強制したり、接種を受けていない人へ差別的な対応は絶対にしないようにしましょう。